

出張報告届

令和 6 年 1 月 12 日

吹田市議会議長様

会派名 立憲民主党  
代表者氏名 西岡 友和  
出張者氏名 西岡 友和  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 出張先   | 地方議員研修会セミナー<br>(千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル) |
| 期間    | 2024 年 1 月 11 日 ～ 1 月 12 日まで 2 日間   |
| 出張の成果 | 別紙のとおり                              |
| 備考    |                                     |



## 公共施設と財政問題

2024年1月12日

西岡 友和

公共施設と地方財政の問題は、吹田市でも重要な課題であり、地方自治体が提供する公共施設やサービスは、市民の生活に深く関わり、地域社会の発展に寄与している。しかし、これらの施設を維持し、適切なサービスを提供するためには十分な財政基盤が必要であり、老朽化による建て替えの是非などは常に選挙の争点になりうる。今回、受講した、「公会計改革と公共施設との緊密な関係、公共施設にかかる財政課題」から、公共施設と地方財政の課題について考察する。

多くの地方自治体が抱える主要な課題は、公共施設の老朽化と十分なメンテナンスの不足があげられる。長期にわたる適切な保守が行われなければ、施設の機能が低下し、修繕に膨大な予算が必要となる。しかし、新設の場合は市民からの要望も強く、政策的にも喜ばれる事が多いし、市民理解も得られやすい。一方、修繕費については、その規模にもよるが、新設と変わらぬ予算が必要となる場合もあり、ひっ迫する財政にあって市民理解が進まない場合が考えられる。人口の変動や都市化の進展により、一部の地域では公共施設の需要が急増する事もある。しかし、限られた予算の中で需要に応えることは難しく、サービス提供の不均衡が課題となる。

地方自治体が抱える最も一般的な課題は、限られた予算で多岐にわたるサービスを提供しなければならないという課題だ。過去の開発プロジェクトや施設の整備に伴い、一部の自治体は巨額の借金を抱え、これが自治体の予算計画を制約し、サービスの向上に制約をかける。地方自治体の主要な財源は税収だが、景気変動や予想も出来ないパンデミックなど、様々の要因より収入が不安定になることがあり、これが計画の不確実性を引き起こす。

効果的な予算編成と優先順位付け:

地方自治体は、予算を慎重に編成し、重要度に基づいてプロジェクトや施設に資金を割り当てる必要があります。

新しい技術やイノベーションを積極的に導入することで、公共施設の効率性を向上させ、財政課題にも対応できる。とりわけ昨今の行政プロセスのデジタル化や効率化は、業務の合理化やコストの低減が見込める。電子行政やデジタルサービスの導入により、手続きの簡素化や情報の素早い提供が期待される。

地方自治体は短期的な課題だけでなく、中長期的な視野に基づいた計画を策定することが求められる。将来の人口増加や技術の進化に備え、持続可能で柔軟なインフラ整備を行うことが重要となる。

これらのアプローチを総合的に展開し、公共施設と地方財政の問題に対応しなければならない。地方自治体は限られた予算の中で多岐にわたるサービスを提供し、公共施設を維持する必要がありますが、これにはさまざまな課題が伴います。公共施設と地方財政の問題への取り組みは、地域の魅力を向上させ、住民の生活の質を向上させる大きな影響をもたらす。継続的な計画と実行が求められ、地方自治体同士が協力し合うことで、複合的なイノベーションをもたらし、これからの人口減少社会に対応しなければならない。今回の研修を通じて、吹田市における公共施設の維持、本庁舎の建て替えなど、中長期にわたる戦略的プランを早期に作り上げる必要性を強く感じた。

以上